

トピックス

病院見学のサポートや相談セミナーなど随時受け付け中！

当協議会では、県外医学生の病院見学をサポートする「ずんばい回ろう！病院見学アシスト！」を通年で行っています。皆さまの希望をもとに、協議会事務局が見学希望先との日程調整等を行いますので、皆さんが病院一つ一つに申し込みを行う手間が無くなり、試験や実習に集中することが出来ます！旅費の補助もありますので、冬休みや春休みなどに是非ご利用ください。

また、皆さまの要望に可能な限りお応えして、指導医や研修医との交流の場をセッティングする「よろず相談セミナー」も随時実施しています！（初期臨床研修で初めて鹿児島に移り住んだ先輩研修医と話してみたい、〇〇科の指導医の先生から話を聞いてみたい、etc）

令和5年度は、将来の進路として総合診療科を検討されている方と、総合診療科の専門研修プログラムを持つ病院とのオンラインセミナーを実施しました。

どちらのイベントも当協議会の公式Webサイトから随時受け付け中です！（ただし病院見学アシストは見学実施月に応じた申し込み締切あり）皆さまの応募をお待ちしております。



協議会主催の令和6年度第2回オンライン合同説明会を開催します！！

令和6年6月に、県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、オンライン合同説明会（Zoom）を開催し、県内外から数多くの医学生の方に参加していただきました。

コンシェルジュによる相談会、病院毎の個別相談会を実施し、指導医・研修医に病院・研修プログラム内容、研修医生活について説明していただきました。

第2回を今年11月19日～22日にオンラインで開催します！詳細は、協議会公式Webサイト等にてご案内しますので、ぜひ御参加ください！！



鹿児島大学医学部で対面式の合同説明会を開催！

令和6年7月に鹿児島大学医学部鶴陵会館にて、県内すべての基幹型臨床研修病院（12病院）が一堂に会する臨床研修病院合同説明会を開催しました！

多くの医学生の方に参加していただき、指導医・研修医・病院関係者から、病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について紹介していただきました。

第2回を令和7年1月頃に実施予定です。協議会公式Webサイト等にてご案内しますので、前回は残念ながら予定が合わなかったり、遠方で参加できなかった医学生の皆さまも、是非この機会にご参加ください！



鹿児島県初期臨床研修連絡協議会

（事務局：鹿児島県 保健福祉部 医師・看護人材課）

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5928

<https://kagorinsho.jp/>



鹿児島流

熱いハートの医師 育てます



写真協力：鹿児島県PRポスター

私の臨床研修医時代

大隅鹿屋病院 内科専攻医 福迫 早紀さん

出身校 鶴丸高校▶熊本大学

初期研修は県内外の病院を見学しましたが、研修医が生き生きと主体的に研修を行っている姿に憧れて大隅鹿屋病院で初期研修を行いました。初期研修では自病院で1年目に、初期対応や身体所見の取り方、鑑別・検査の進め方、そして基本的手技の習得を行い、2年目の自由選択では自分の興味・関心に応じ徳洲会のスケールメリットを活かして研修科・病院を選択しました。実臨床では患者さんをはじめ、上級医・指導医、コ・メディカルスタッフの方々から教わることもたくさんあり、多くの方に支えられながら成長した2年間だったと思います。この期間に、心筋梗塞など急性期・重症の患者さんでも元気に退院していく姿が見られ、また末期心不全など特に終末期にその人らしさに向き合うことの奥深さに関心を持ち循環器内科医を志すようになりました。私自身まだまだ未熟で悩むことも多いですが、今後の糧になると信じています。初期研修は医師としての第一歩です。どんな環境でも学ぶ機会はたくさんあります。目標とする医師像に向かって、お互いに頑張っていきましょう。



出身地 いちき串木野市

指導医の思い



出身地 福岡県

つる まさし
鶴 将司さん

出身校 日本放送協会学園高校▶金沢医科大学

勤務先▶いまきいれ総合病院

H18年に医師となり、福岡県久留米市にある新古賀病院で初期研修を開始しました。学生の頃から循環器内科希望だったため、カテーテル治療件数の豊富な病院を選択しましたが、内科全般を広く診療していた当時の呼吸器内科の指導医達に感化され、後期研修では結局呼吸器内科を選択しました。その後、埼玉の病院で救急医を経て現在の総合診療医に落ち着いたのですが、研修医時代にメンターと仰ぐ先輩方に出会えて指導を受けられたことは今でも私にとっての財産となっており、医師としての考え方もこの時に形成されたものであり、非常に感謝しております。



出身地 福岡県

いいの さとし
飯野 聡さん

出身校 福岡県立小倉高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市立病院

1995年に大学を卒業し旧鹿児島大学第一外科に入局しました。当時、臨床研修制度はなく即入局の時代でした。入局後しばらくたってからの飲み会でのこと。一次会と二次会の間に、当時の医局長と二人で寄り道する機会がありました。その時、研修医2年間は学生から医師になるための大切な時期で後の数十年のスタンスを決めてしまうこと、研修医時代に頑張れなかった人間が後タリセットすることは非常に厳しいこと、などを説かれました。当時の私の研修態度を見てのことなのか一般論なのか、今となっては定かではありませんが(当時も恐ろしくて聞けませんでした)、この出来事が以後の研修に影響を与えたのは間違いありません。当時の医局長よりも歳を重ねてしまいましたが、医療というのは区切りがあるわけではなく、連綿と積み重ねていくものだと思改めて感じています。



出身地 鹿児島市

まえだ こうき
前田 光喜さん

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島大学病院

桜島プログラムの一期生として、期待と不安の中で臨んだ第一外科での2か月間は、今でも鮮明に心に残る強烈で刺激的な体験でした。その後の2年間、県内7か所の病院を回り、多くの貴重な経験と出会いを重ねました。個性的で魅力的な指導医の先生方から学び、時には笑い合いながら、成長の機会に恵まれました。精神科医を目指して入学した私が、卒業時には内科医、そして研修終了時には産婦人科医と外科の間で迷った末、2年目の3月に外科医としての道を選びました。今では、社会や医療は以前よりも洗練されていますが、私が後輩に伝えたいのは、「風の海より嵐の海」の方が、後で酒を酌み交わす時の良い肴になるということです。研修医時代に会った人とは20年経っても大事なつながりが残ります。患者のために汗を流し、たくさんの笑い話を一緒に作り上げましょう。



出身地 鹿児島市

かわばた かつと
川畑 活人さん

出身校 鶴丸高校▶広島大学

勤務先▶米盛病院

平成17年に広島大学を卒業し、2年間鹿児島市立病院で初期研修を行いました。新医師臨床研修制度が始まって2年目で、夜間にFirst callが来てても対処法が分からず戸惑ったり、毎日の様に手術の助手として呼び出されたりと、研修医、指導医共にまだ手探りで研修していた時代でした。大変なことも多かったのですが、各科の指導医の先生方がバックにいてくださり、積極的に色々な経験もできました。腰椎穿刺や中心静脈穿刺などの他、経尿道的膀胱腫瘍切除術や腎臓摘出術、慢性硬膜下血腫ドレナージなどを執刀させていただきました。指導医となった今では、バックの先生方がいかにヒヤヒヤしながら見守ってくださっていたかと頭が下がる思いです。これから研修をされる先生方には、初期研修という貴重な期間にぜひ積極的に色々な経験を積んで欲しいと思います。

研修医の声



出身地 枕崎市

こば ゆうき
木場 有紀さん

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

研修先▶今村総合病院

気づけば研修医2年目の生活も後半となり、振り返れば様々な経験をさせていただいたなあとしみじみ思います。初期研修は基礎を固め、腰腰を鍛える非常に大切な時期であると考えております。そのため、研修医として積極的に診療に関わろうと努めてきました。今村総合病院は総合内科をはじめ、多くの診療科があり、行く先々で勉強させていただきました。一つ一つの指導が、自分の糧になっているように感じます。特に、総合内科での救急外来や病棟業務は主治医として任される場面もあり、考えなければならないことがたくさんありましたが、悩むたびに相談できる環境があるため、とても心強かったです。研修医2年目が終われば、いよいよ3年目の専攻医として活動する段階となりますが、今村総合病院での学びを活かして、日々積み重ねていきたいと考えております。



出身地 鹿児島市

ながさと まさとし
永里 優宗さん

出身校 青雲高校▶自治医科大学

研修先▶県立大島病院

初期研修医となり1年と半年が経過し、残すところあと半年となりました。4月からの新生活が奄美大島という離島で、新天地として不安いっぱいでありましたが、今では島民として離島生活を楽しめるようになりました。県立病院群プログラムの同期は10人おり、全国からも多くの研修生が集まるので、皆で支え合いながら切磋琢磨し、とても充実した研修生活を送ることができています。現在は島を離れ、多彩な症例を学びたいと思い、様々な鹿児島県内の地域中核病院で研修を行っております。へき地医療、離島医療に惹きつけられ自治医科大学の門を叩き、卒後、実際に医師として地域医療に貢献できることを光栄に感じております。より一層精進し、自分の思い描く医師像に近付けるよう、残りの研修生活を送りたいと思っております。



出身地 鹿児島市

うえはら いおり
上原 伊織さん

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

研修先▶鹿児島生協病院

研修医生活も残りわずかとなりました。思い返せば、1年目の4月は当院感染症内科でお世話になり、何も出来ずついていくのに必死だった記憶があります。それから約1年半後、本稿執筆中に再度同科をローテーションしていますが出来ること出来ないことがより明確になり、確かな成長を感じております。これまでの研修中、辛い場面も多々ありましたが、同期や先輩、コメディカル、職員の方々に支えられながらなんとかここまで来ることができました。もちろん家族にも支えられました。私事ですが、第2子誕生予定で心待ちにしているところです。家事や育児をできる限りこなしながら研修を行うのはなかなかハードですが、充実感や使命感も増し、身が引き締まる思いです。3年目からはさらに仕事の責任も増しますが、今すべきことを明確にして着実にステップアップできるように残りの研修でも研鑽を積んでいく所存です。



出身地 始良市

うしかい ようすけ
牛飼 陽介さん

出身校 鹿児島情報高校▶鹿児島大学農学部 鹿児島大学医学部学士編入

研修先▶南風病院

南風病院で研修医2年目の秋を迎えました。これまでの研修を振り返って、特に印象に残った症例は、市立病院の救急科にて巡航客船からヘリコプターでイギリス人の男性が心筋梗塞で運ばれてきた症例です。イギリスに帰って治療したいという希望がありましたが、説得しカテーテル治療を受けてもらうことができました。一生懸命頑張ったことが役に立ち、嬉しかったことを覚えています。学生時代にイギリス人の妻と結婚し、現在0歳と2歳の子供がいます。2人目が生まれた際には育児休暇を取得させていただき、家族と大切な時間を過ごすことができました。南風病院は十分な給与体制と、残業が少なく定時帰宅が可能のため、家庭と仕事の両立がしやすい環境にも感謝しています。家族にとっては、ある意味『熱いハートの医師』となれたのではないのでしょうか。今後は鹿児島大学の皮膚科に進む予定です。初期研修で得た経験を活かしながら、さらに精進してまいります。